



全国共済農業協同組合連合会 (JA 共済連)

〒102-8630 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル

TEL.03-5215-9160 (地域活動支援部)

<http://social.ja-kyosai.or.jp>

JA共済の 地域貢献活動 2014



JA共済は、地域の絆を大切に、 幸せの輪を広げます。

日頃よりJA共済事業をお引き立ていただき、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで多くの方々にご利用いただき、平成25年度は3兆6,247億円の共済金をお支払いし、組合員・利用者の皆さまにお役立ていただくことができました。

日本の農村では、古くから共同体をつくり、お互いに支え合い、助け合って暮らしを営んできました。日常の農作業はもちろん、自然災害や火事などの災害時には、共同体全体で救済・援助を行いました。そうした歴史を背景に、農家組合員が協力して農業生産力の増進と経済的・社会的地位の向上を図ること、そして、協同による事業活動を通じて、農家組合員の幸福と利益を実現することを目的に「農業協同組合（JA）」は生まれました。

JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助（助け合い）」を事業活動の原点として、事業開始より60年余、幸せの輪を広げるべく事業活動を展開してまいりました。

これからも、地域に暮らす人びととの絆を大切にしながら、共済事業と地域貢献活動の積極的な取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献してまいります。

本誌をご覧ください、JA共済に対するより一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



経営管理委員会会長
市村 幸太郎

代表理事理事長
勝瑞 保

CONTENTS

ごあいさつ	1
JA共済の取り組み	3
JA共済の地域貢献活動	5
交通事故対策活動 〈幼児向け〉	
交通安全教室	7
JA共済アンパンマン交通安全キャラバン	7
〈生徒向け〉	
自転車交通安全教室	8
〈児童・生徒向け〉	
交通安全教育支援	8
〈高齢者向け〉	
交通安全教室	9
安全運転診断	9
介助犬の育成・普及支援活動	10
リハビリテーション	10
各種団体への支援等	11
健康管理・増進活動	
笑いと健康教室	12
レインボー体操	12
健康・介護ほっとライン	13
健康診断・人間ドック助成	13
高齢者・障がい者福祉活動	
高齢者集団保養検診	14
介護福祉士養成奨学金制度	14
介護人材育成奨励金制度	14
在宅介護施設建設資金助成制度	14
介護機器等購入費用助成制度	14
宿泊保養施設運営	
宿泊保養施設運営	15
災害救援活動	
仮設住宅・災害シート	16
文化支援活動	
「書道」「交通安全ポスター」コンクール	17
環境保全活動	
リボンキャンペーン	18
都道府県独自の地域貢献活動	19

J A 共済の取り組み

共済事業と地域貢献活動の両輪で、
地域の皆さまへ「安心」と「満足」を。

車の両輪

充実した生活総合保障の提供

ひと・いえ・くるまに関する保障の提供

共済事業

ひと



万一の保障は
もちろん、医療保障も
充実している生命総合共済

生命総合共済(保有)

加入件数 **2,079** 万件

保障金額

145兆3,167 億円

いえ



地震を含む自然災害や
火災などの幅広い保障で
マイホームを守る建物更生共済

建物更生共済(保有)

加入件数 **1,058** 万件

保障金額

144兆739 億円

くるま



確かな保障と
充実したサービスの
自動車共済・自賠責共済

自動車共済(保有)

加入件数 **841** 万件

自賠責共済(保有)

加入台数 **701** 万台

お役に立った
共済金

万一のときや満期のときなどに
共済金をお支払いし、皆さまに
お役立ていただいています。

平成25年度にお支払いした共済金

3兆6,247 億円

内訳

生命総合共済

万一のお支払い 5,438億円／満期等のお支払い 1兆7,866億円

建物更生共済

万一のお支払い 1,368億円／満期等のお支払い 8,319億円

自動車共済 2,143億円

自賠責共済 418億円

その他共済 691億円

自然災害にも
確かな
保障

巨大災害などのリスクに確実に
備えるため、異常危険準備金の
積立てを行うとともに、海外への
再保険も行っています。

平成23年3月 東日本大震災(宮城・福島・岩手ほか)

676,008 件／**9,304** 億円

過去の主な自然災害に対する建物更生共済のお支払い(平成7年以降)

平成7年1月 阪神・淡路大震災(兵庫・大阪・京都ほか)

101,535 件／**1,188** 億円

平成11年9月 台風18号(熊本・山口・鹿児島ほか)

180,030 件／**638** 億円

平成16年9月 台風18号(山口・熊本・福岡ほか)

284,560 件／**1,083** 億円

平成16年10月 台風23号(兵庫・岡山・京都ほか)

78,516 件／**404** 億円

平成16年10月 新潟県中越地震(新潟・群馬・福島ほか)

87,656 件／**773** 億円

健康で安心して暮らせる
豊かな環境づくりへの貢献

ひと・いえ・くるまに関する福祉活動

地域貢献活動

事故の未然防止活動 事故後の相互扶助活動

1 交通事故対策活動

- 交通安全教室
- ドライビングシミュレーター
- 警察等と連携した交通事故対策活動
- 自転車事故防止対策
- 介助犬の育成・普及支援
- リハビリテーションセンターの開設
- 各種交通事故対策活動
- 各種団体への支援等

2 健康管理・増進活動

- 笑い与健康教室
- レインボー体操
- 健康・介護ほっとライン
- 健康診断・人間ドック助成

3 高齢者・障がい者福祉活動

- 高齢者・障がい者福祉活動助成
- 高齢者集団保養検診

4 宿泊保養施設運営

5 災害救援活動

- 仮設住宅貸与制度
- 災害シートサービス

6 文化支援活動

- 小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール

7 環境保全活動

- リボンキャンペーン

交通安全教室 幼児向け

幼児の交通事故を防ぐために、
ミュージカル形式の交通安全教室を実施



JA共済アンパンマン 交通安全キャラバン 幼児向け

交通安全キャラバンカーが全国を巡回し、
幼児や保護者に交通安全を呼びかけ



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

「書道」「交通安全 ポスター」コンクール

心の豊かさ・地域との絆を育む、
小・中学生対象のコンクール



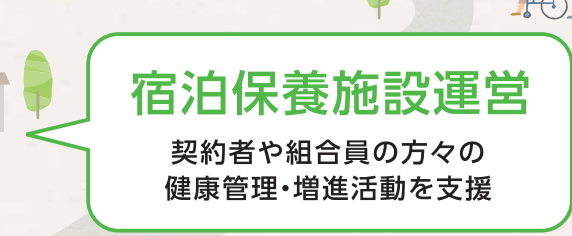
リハビリテーション

2つのリハビリテーションセンターで、
交通事故被害者の社会復帰をお手伝い



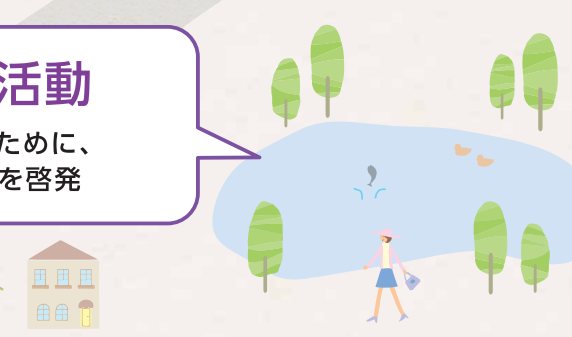
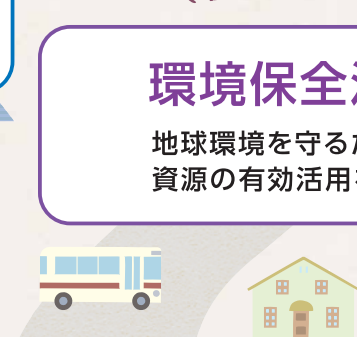
宿泊保養施設運営

契約者や組合員の方々の
健康管理・増進活動を支援



環境保全活動

地球環境を守るために、
資源の有効活用を啓発



仮設住宅・災害シート

災害にあわれた方々を支援し、
生活の立て直しをサポート



JA共済の 地域貢献活動

組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で
健康に安心して暮らしていくために。JA共済は
地域との絆を大切にしながら、さまざまな
活動を行っています。

自転車交通安全教室 生徒向け

中高生に向けて、自転車の交通ルール、
事故の怖さや加害者となるリスクを伝える



高齢者・障がい者 福祉活動

高齢者・障がい者がいつまでも安心して
暮らすために、JAの福祉活動等を支援



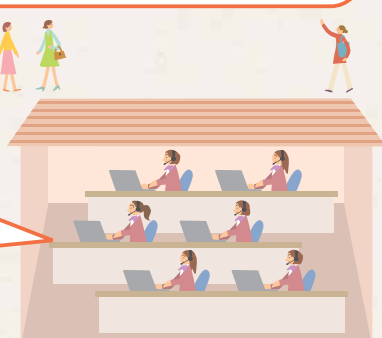
安全運転診断 高齢者向け

高齢ドライバーの事故を防ぐために、
巡回型の安全運転診断・アドバイスを行う



笑い与健康教室

「笑い」の効果を学んで、
楽しみながら毎日の健康づくり



レインボー体操

ずっと健康で暮らすために、
どなたにでもできる健康体操を実施



介助犬の育成・普及 支援活動

介助犬の育成・普及支援を通じて、
交通事故被害者の自立を応援



交通安全教室 高齢者向け

高齢者の交通事故を防ぐために、
落語を取り入れた交通安全教室を開催



健康・介護 ほっとライン

健康や介護、育児などの悩みを
相談できる電話相談サービス

交通安全教室

幼児
向け

就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室「魔法園児 マモルワタル」を全国各地で実施しています。このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。

魔法園児 マモルワタル



後援：内閣府／警察庁／国土交通省 推薦：一般財団法人 全日本交通安全協会



保護者の方々・先生の声

- マモルワタルのキャラクターがすごくかわいく、ダンスもあり安全な横断歩道の渡り方も楽しく覚えられました。園に帰ってもみんなで練習します。
- 大人も楽しく見ることができました。大切なこどもたちの命を守るためにも、もっと多くの人に覚えてもらいたいと思いました。



「交通安全ミュージカル」の実施規模

累計
動員数 **22** 万人以上

平成16年度から実施しており、平成25年度は全国で32回、441の幼稚園・保育園を招待し、17,527名の園児・保護者の皆さんに参加いただきました。

園児たちの歌声が響き、会場は毎回盛況です。

ミュージカルを観た全国各地のこどもたちから寄せられた似顔絵や手紙

JA共済アンパンマン交通安全キャラバン

幼児
向け

小さなお子さまに絶大な人気を誇るJA共済のイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」。荷台部分がステージになるキャラバンカーで全国を巡回して行うステージショーは幼児や保護者に好評です。ショーを通じて交通安全を呼びかけ、親子で交通安全について考える時間を提供しています。

それいけ!アンパンマン 監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

赤・青・黄色のキャラバンカーがとても目をひきます。

来場者の方々の声

- アンパンマンたちと一緒に、親子で楽しく交通安全ルールが学べて良かったです。
- ダンスや歌があって、小さいこどもでも飽きないで見ることができました。
- ショーの後にアンパンマンとの握手会があり、こどもも喜んでいました。

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」の実施規模

累計
動員数 **61** 万人以上

平成22年度から実施しており、平成25年度は全国191会場で、158,799名の皆さんに交通安全を呼びかけました。

自転車交通安全教室

生徒
向け

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行に伴う交通事故の実演（スタントマン）により、生徒に危険性を疑似体験させる教育事業（スケアード・ストレイト教育技法）の推進を支援しています。また、この自転車交通安全教室の映像はホームページから視聴・ダウンロードいただけます。
<http://social.ja-kyosai.or.jp>



巻き込み事故再現

参加した生徒・先生の声

- 自転車が被害者になるだけでなく、加害者にもなることがあるということが一番印象的でした。（生徒）
- 事故の恐ろしさを知ったので、これからは交通ルールをしっかりと守って自転車に乗りしたいと思います。（生徒）
- これまでの交通安全教室と違い、生徒が真剣な眼差しでした。（教諭）

「自転車交通安全教室」の実施規模

累計
動員数 **28** 万人以上

平成21年度から実施しており、平成25年度は全国で114回、64,590名の皆さんに参加いただきました。

VOICE 自転車交通安全教室 一取り組みの最前線一

私たちはプロのスタントチーム。
事故の恐怖をしっかりと伝えます。

交通事故は実際に体験してみないと本当の恐ろしさはわかりません。ですが、実際に事故を起こしてからでは取り返しがつきません。衝撃を目の当たりにすることで、事故は絶対に起こしてはいけないものと感じ取ってもらえれば何よりです。

スーパードライバーズ
田中尋之さん

交通安全教育支援

児童・生徒
向け

こどもたちの交通事故を防ぐためには、交通ルールの大切さを理解し、交通安全に対する意識を高める取り組みが欠かせません。そこでJA共済では、全国の小・中・高等学校に無償配布した小学生向け、中学生・高校生向けの「交通安全教育DVD」をホームページから無償でダウンロードができるようにしています。
<http://social.ja-kyosai.or.jp>



高齢者の交通事故をなくすために、高齢者向け交通安全教室を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。

プログラム〈所要時間:90分※〉

※実施時間の目安です。

- 交通安全講話……………15分
- 身体機能の衰えに関するビデオ上映……………15分
- 敏捷性測定または反射神経活性化ゲーム……………10分
- 交通安全体操……………15分
- 交通安全落語……………30分



参加した方々の声

- 笑いが多く、楽しい1日になりました。たいへん有意義な催しでした。今後も事故防止の企画をお願いします。
- 交通安全の大切さを再認識した。自分の住む地域から交通事故を絶対に出さないように心がけたいと思います。



(平成26年6月現在)

「高齢者向け交通安全教室」の実施規模

累計
動員数 **21** 万人以上

平成17年度から実施しており、平成25年度は全国で174回、21,591名の皆さんに交通安全落語を楽しんでいただきました。

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、JA共済では、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国7か所に配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、約5分間の講習で運転診断と安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



ドライビングシミュレーター

自分では気づかなかった「うっかりミス」や運転の癖など、事故を起こしやすいところを認識することで、日頃の運転を見直し、安全運転を心掛けることができます。



参加した方々の声

- 交通事故の発生パターンを具体的に体験できたので良かったです。
- 自分では運転に自信があると思っていたが、診断を参考にして安全運転に努めたい。
- 年をとると判断が鈍くなるのはやむを得ないが、自分の今を知るのにとっても良い機会でした。

「ドライビングシミュレーター」の実施規模

累計
回数 **1,978** 回

平成20年度から取り組んでおり、平成25年度は全国で271回実施しました。多くの方々の運転診断を行っています。

介助犬とは、交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活をお手伝いする犬のことです。JA共済では、介助犬の育成・普及支援に取り組み、介助犬の受入れに対する理解を促進するため、介助犬によるデモンストレーションやJA共済が企画・制作した介助犬の絵本の読み聞かせによる活動を通じて、障がい者の方の自立と社会復帰を支援しています。



絵本
「世界でいちばん幸せな犬」
「ハナちゃんの帽子」



写真提供：NPO法人 日本介助犬アカデミー・社会福祉法人 日本介助犬協会

●介助犬とは？

介助犬とは、身体の不自由な方の手助けをするために特別なトレーニングを積んだ犬のことをいいます。盲導犬が目の不自由な方の目となって障害物や曲がり角の存在を知らせるように、介助犬は肢体不自由者の手足となり、物を拾ったりドアを開閉したりして日常生活における動作を補助します。「身体障害者補助犬法」により補助犬(介助犬、聴導犬、盲導犬)が公共の施設や交通機関に同伴立ち入りができるようになり、デパートやホテル、飲食店などの一般施設でも受入れが義務化されています。

●介助犬のいろいろな仕事



靴下を脱がせる

冷蔵庫からペットボトルを持ってくる

JA共済のリハビリテーションセンターは、静岡県中伊豆と大分県別府にあります。これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。昭和48年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター



- 敷地面積／162,613m²
- 建物床面積／25,332m²
- 利用定員／障害者支援施設134名
病院(回復期リハ病棟)110床
障害者短期入所事業7名
障害福祉サービス事業所20名(通所)
通所リハビリテーション事業100名
- 職員数／347人

入所・入院のお問い合わせ先 静岡県伊豆市冷川1523-108
電話:(0558)83-2111

農協共済 別府リハビリテーションセンター



- 敷地面積／151,984m²
- 建物床面積／40,644m²
- 利用定員／障害者支援施設80名
病院(回復期リハ病棟)116床
福祉ホーム5名
障害福祉サービス事業所40名(通所)
通所リハビリテーション事業120名
- 職員数／307人

入所・入院のお問い合わせ先 大分県別府市鶴見1026-10
電話:(0977)67-1711

各種団体への支援等

JA関連医療機関の救急医療およびリハビリ医療の充実を図ることにより、交通事故被害者の救命や交通事故障がい者の社会復帰の支援を行っています。このほか交通事故の対策としてカーブミラーの設置、救急車の寄贈など、さまざまな支援活動を実施しています。

また、ドクターヘリの普及促進支援も実施しています。東日本大震災では、全国から集結したドクターヘリが、孤立した病院の患者の救出など、被災者救援に貢献しました。



笑い与健康教室

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目されています。

JA共済では、健康増進活動のひとつとして「笑い与健康」の関係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑い与健康教室」を実施しています。



健康をサポートする小冊子



笑い与健康教室DVDより

教室の主な内容

- 笑い与健康DVD(視聴)
- Oh! 笑い体操
- 笑い与健康ゲーム
- 落語(DVD)
- 笑いヨガ



「笑い与健康教室」の実施規模

過去
7年間の
参加人数 **7万2千人以上**

平成19年度から実施しており、平成25年度は全国で167回実施し、9,989名の皆さんに参加いただきました。

自賠責共済運用益事業について

JA共済は、自賠責共済事業から生じた運用益を自動車事故防止対策、救急医療体制の整備、自動車事故被害者対策等に活用しています。

自賠責共済運用益

自賠責共済の掛金は、共済掛金の収入と共済金のお支払いの間に、一定期間の時差があり、この間JA共済には一定の資金が滞留します。

この滞留資金を運用して得られた利息を自賠責共済運用益と呼んでいます。自賠責共済はノーロス・ノーブロフィットの原則に基づいて運営されていることから、JA共済では、法令に従い、この運用益全額を他の資金と区分して、準備金として積み立てています。

自賠責共済運用益拠出事業

自賠責共済運用益の使途については、将来の自賠責共済の収支改善のための財源とするほか、自動車事故防止対策、救急医療体制の整備、自動車事故被害者救済等に必要な費用など、被害者保護の増進に資する施策に活用できるとされており(自賠法28条の3)、この運用益を活用した事業を自賠責共済運用益拠出事業と呼んでいます。

レインボー体操

JA共済のレインボー体操は、昭和58年にJA女性組織の皆さんの健康づくりのために開発された体操です。考案者の二村ヤン子先生のリハビリ体験から生まれた体操で、立ってはもちろん、座ったままでも、寝ていてもでき、体力に自信のない方、高齢の方でも安全で無理なく楽しく続けられます。心臓に負担をかけないやさしい動きで全身の血液の流れがよくなり、「肩こり・腰痛の解消」「生活習慣病予防」「老化防止」「リフレッシュ」に効果が期待できます。

見ながら体操ができるDVD やさまざまな資料を提供しています。



「レインボー体操」の実施規模

過去
31年間の
参加人数 **64万人以上**

昭和58年度から実施しており、平成25年度は全国で19,603名の皆さんに参加いただきました。

VOICE レインボー体操 —取り組みの最前線—

レインボー体操を実践して、多くの人に
元気で自立した生活を送ってほしい。

レインボー体操は、私自身が体験したケガのリハビリから生まれました。やさしい動きで全身の血流が良くなり、続けることで筋肉に力がついていきます。面倒くさいと思ったら寝たままでもできます。健康づくりのために始めてみましょう。



レインボー体操考案者
理学博士 二村ヤン子先生

12 気軽に悩みを相談できる電話相談サービス 健康・介護ほっとライン

健康や介護、育児についての悩みごと、気になることを看護師や介護支援専門員、医師、栄養士などが直接電話でお答えする電話相談サービスです。健康診断の結果等の疑問から、介護・育児についてのお困りのことなど、お気軽にご利用ください。全国どこからでも24時間・365日、無料でご利用いただけます。

※ご相談の内容・性質等により回答できない場合があります。ご了承ください。



「健康・介護ほっとライン」の
相談コール本数

これまでの
利用人数 **7万人以上**

平成25年度の相談コール本数は
6,495件ありました。

13 健康を願うたくさんの方々に助成 健康診断・人間ドック助成

JA共済では、高まる健康意識に
応えて、健康管理・増進を目的と
したさまざまな福祉活動を行っ
ています。共済加入者とそのご
家族には、健康管理・維持のため
に、健康管理に不可欠な各種の
健康診断や人間ドック受診の助
成を行っています。



「人間ドック・健康診断」の実施規模
過去の実施人数

人間
ドック **218万人以上**
健康
診断 **2,751万人以上**

平成25年度の人間ドック助成人数は43,977名、
健康診断は、145,306名の受診助成を行いました。
※累計は昭和50年度より

14 保養施設などを利用して健康診断 高齢者集団保養検診

JA共済では、農村の高齢化の進展に伴い、高齢者を対象に、保養施設などを利用して保養しながら健康診断を受ける、高齢者集団保養検診を実施しています。

「高齢者集団保養検診」の実施規模

過去38年間の
受診者数 **201万人以上**

平成25年度の受診者数は12,461名でした。
※累計は昭和50年度より

15 介護福祉士をめざしている方を支援 介護福祉士養成 奨学金制度

介護福祉士をめざして勉強している方を支援
しています。

これまでの
奨学生 **215人**
(平成6年度より実施)

16 介護業務に携わる職員を育成 介護人材育成奨励金制度

JAの介護事業サービス向上のため、介護福祉士、
介護職員初任者研修修了者を育成しています。

これまでの
人数 **112人**
(平成25年度より実施)

17 在宅介護施設の建設資金を助成 在宅介護施設 建設資金助成制度

JAの介護保険事業を支援するため、在宅介護施設
を設置する際の建設資金を助成しています。

これまでの
助成施設数 **257施設**
(平成7年度より実施)

18 介護機器等の購入費用を助成 介護機器等 購入費用助成制度

JAの介護保険事業を支援するため、在宅介護施設で
使用する介護機器等の購入費用を助成しています。

これまでの
助成施設数 **277施設**
(平成7年度より実施)

JA共済グループでは、「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、宿泊保養施設を運営しています。

宿泊保養施設一覧

福島

奥飯坂
「摺上亭大鳥」

〒960-0201
福島県福島市
飯坂町字中ノ内24-3
TEL.024-542-4184
客室数:59室

神奈川

中川温泉郷
「あしがら荘」

〒258-0201
神奈川県足柄上郡
山北町中川448-2
TEL.0465-78-3621
客室数:21室

長野

黒姫温泉
「ホテルアスティくろひめ」*

〒389-1303
長野県上水内郡信濃町
黒姫高原3884-298
TEL.026-255-3181
客室数:35室

長野

天徳温泉
「アスティかたおか」*

〒399-0711
長野県塩尻市片丘字
東山9215-1401
TEL.0263-52-7600
客室数:26室

新潟

鵜の浜温泉
「鵜の浜ニューホテル」

〒949-3101
新潟県上越市
大潟区雁子浜304
TEL.025-534-2622
客室数:36室

富山

雨晴温泉
「磯はなび」

〒933-0133
富山県
高岡市太田88-1
TEL.0766-44-6161
客室数:50室

石川

柴山温泉
「ホテル翠湖」

〒922-0402
石川県
加賀市柴山町し50
TEL.0761-74-5588
客室数:21室

愛知

三河湾三ヶ根山
「グリーンホテル三ヶ根」

〒444-0701
愛知県西尾市東幡豆町
入会山1-287
TEL.0563-62-4111
客室数:61室

兵庫

城崎温泉
「あさぎり荘」

〒669-6101
兵庫県豊岡市
城崎町湯島876
TEL.0796-32-2921
客室数:35室

和歌山

南紀白浜温泉
「癒しの宿 クアハウス白浜」*

〒649-2211
和歌山県西牟婁郡
白浜町3102
TEL.0739-42-4175
客室数:42室

鳥取

鳥取温泉
「ホテルモナーク鳥取」

〒680-0834
鳥取県鳥取市
永楽温泉町403
TEL.0857-20-0101
客室数:116室

鳥取

はわい温泉
「羽衣」

〒682-0715
鳥取県東伯郡湯梨浜町
はわい温泉21-1
TEL.0858-35-3621
客室数:25室

島根

玉造温泉
「ホテル玉泉」

〒699-0201
島根県松江市
玉湯町玉造53-2
TEL.0852-62-0021
客室数:121室

佐賀

武雄温泉
「ホテル春慶屋」

〒843-0022
佐賀県武雄市武雄町
大字武雄7407
TEL.0954-22-2101
客室数:24室

宮崎

日南海岸青島温泉
「ホテル青島サンクマール」

〒889-2164
宮崎県宮崎市
折生迫7408
TEL.0985-55-4390
客室数:40室

*長野県・黒姫温泉「ホテルアスティくろひめ」、長野県・天徳温泉「アスティかたおか」、和歌山県・南紀白浜温泉「癒しの宿 クアハウス白浜」の3施設は、JA共済連の子会社以外の関係団体が運営している施設です。

JA共済のご契約者のお住まいが、台風などの自然災害や火災等で壊れて住めなくなってしまったときに「仮設住宅」を8か月間無償でお貸ししたり、台風などの自然災害で壊れてしまったときに「災害シート」を無償でお配りするサービスを提供しています。これらのサービスを通じて、ご契約者とそのご家族の災害からの生活の立て直しをサポートしています。



JA共済仮設住宅貸与サービス

仮設住宅を8か月間無償でお貸しするサービスです。住宅だけでなくキッチン、トイレ、お風呂など暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。

※仮設住宅の設置には、建築確認申請などが必要であり一定の期間を要します。

「仮設住宅」の貸与棟数

これまでの貸与棟数 **2,000** 棟以上

平成25年度は78棟をお貸ししました。

「災害シート」の配布枚数

これまでの配布枚数 **18** 万枚以上

平成25年度は9,510枚をお配りしました。

※国や自治体が主体となって被災者救済を行う地震や台風などの大規模災害の場合は、対応できないことがあります。

※JA共済のご契約者様で一定の要件を満たす場合に限りです。



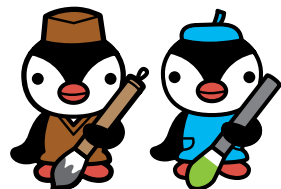
JA共済災害シートサービス

大規模災害時等にJA共済災害シートを無償でお配りするサービスです。(大きさ:3.6m×5.4m(12畳))



「書道」「交通安全ポスター」コンクール

JA共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である助け合いの精神を次世代に伝えるため、小・中学生書道・交通安全ポスターのコンクールを実施しています。



© 2006 JA-KYOSAI

JA共済全国小・中学生書道コンクール

小・中学生の皆さんを対象にした全国規模の書道コンクールです。共済事業の「相互扶助・思いやりの精神」を次代に伝えていくこと、そして児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを実施しています。毎回、大人も顔負けの力作が集まります。



文部科学大臣奨励賞
黒岩 愛さん
(熊本県 小学6年)



文部科学大臣奨励賞
仲田 葵さん
(山梨県 小学2年)



農林水産大臣賞
千葉 優稀さん
(岩手県 中学2年)



農林水産大臣賞
森藤 千尋さん
(岡山県 小学6年)

JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

小・中学生の皆さんを対象にした交通安全ポスターコンクールです。図画工作・美術教育の発展と、交通安全の大切さを幅広く社会に訴えることを目的に交通安全ポスターコンクールを実施しています。こどもたちの願いが込められた作品は、心にひびく秀作ぞろいです。



文部科学大臣奨励賞
徳山 文さん
(広島県 小学4年)



警察庁長官賞
紺野 愛佳さん
(宮城県 小学3年)



農林水産大臣賞
坂井 美羽さん
(新潟県 中学2年)



内閣府特命担当大臣賞
寺嶋 文果さん
(千葉県 小学2年)

「小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール」応募点数

これまでの応募点数

書道 **5,060** 万点以上 交通安全ポスター **840** 万点以上

平成25年度書道コンクールは57回目を迎え、1,460,412点の応募があり、交通安全ポスターコンクールは42回目を迎え、161,663点の応募がありました。質・量ともにわが国屈指のコンクールに成長しました。

リボンキャンペーン

地球温暖化・資源枯渇・廃棄物増加など環境負荷が拡大している中、JA共済では資源の有効活用や地球環境保護の観点から「補修できるものはなおして使い、補修できないものはリサイクル部品を使用する」という運動に一丸となって取り組んでおり、この運動を「リボンキャンペーン」と名づけ、毎年実施しています。

この運動では、事故の修理時ばかりではなく、広く一般的な修理や車検のときにも、クルマの損傷箇所については新品と交換せずに、補修したりリサイクル部品を使っていただけるよう啓発活動を行っています。JA自動車共済の年間の共済金支払件数は約63万件、共済金支払総額(車両・対物合計)は1,478億円にも達しています。補修や、リサイクル部品を活用することは、組合員・利用者の皆さまに今後も安い掛金で安心して加入していただくためにも有効なことです。



都道府県 独自の 地域貢献活動

JA共済は、全国の各都道府県において、地域に根ざしたさまざまな地域貢献活動を実施。皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに取り組んでいます。



青森県本部

街頭でチラシ・ノベルティを配布し交通安全を呼びかけ

夏・秋・冬の交通安全運動週間期間中に、青森市内で交通安全啓発チラシ・ノベルティを地域住民へ配布し、交通安全を呼びかけています。



その他の活動

- 交通事故被害者支援募金の実施
- 環境保全活動(ペットボトルキャップ収集)
- JA共済「こども110番の車」

北海道本部

街頭での交通安全啓発活動を実施

秋の交通安全運動に合わせ、北海道警察、北海道交通安全協会と連携し、ドライバーおよび歩行者にのぼりや小旗を振りながら、交通安全を呼びかける街頭活動を実施しています。

次世代対策助成

組合員およびその家族が、出産・小学校入学に際し、記念品として「名入りアルバム」「文具セット」を贈呈しています。

文具セット



男の子用



女の子用

岩手県本部

児童生徒作品コンクール 「作文の部」「絵画の部」の実施

相互扶助・思いやりの精神を次代に伝えていくとともに、図画や作文教育に貢献することを目的に、小・中学生を対象としてコンクールを実施しています。



第57回特選作品

その他の活動

「地域のためにできること」を考えられる職場作りを目指し、テーマ別にグループを編成し、福祉施設への支援、環境保全活動、清掃活動、震災ボランティア等の活動を行っています。

宮城県本部

JA共済少年野球宮城県大会

相互扶助の事業理念のもと、野球大会を通じ地域のこどもたちの健全育成を目的に宮城県大会を開催しています。



「書道・交通安全ポスターコンクール」作品展示会

全国コンクール大賞作品をはじめ、宮城県コンクールの入賞・奨励作品をお披露目する展示会を開催しています。



その他の活動

生命総合共済の加入者を対象に、高齢者の生きがいと健康維持向上を目的にJA共済健康検診を実施しています。

山形県本部

役職員による清掃活動の実施

日本一の芋煮会会場である山形市馬見ヶ崎河川敷の清掃活動を実施しています。



交通事故対策活動の実施

交通事故の未然防止を目的に、県内の各市町村に対してカーブミラーを寄贈しています。



その他の活動

- 県内各地域へソーシャルクロックを提供
- 高齢者交通安全教室の開催

秋田県本部

超神ネイガー交通安全教室の開催

県内の園児を対象に、ご当地ヒーロー「超神ネイガー」を活用し、園児が交通ルールを学ぶ交通安全教室を実施しています。



学童野球大会の開催

県内の小学生を対象に、体力向上と健全なスポーツ精神の育成を図るため、県内15JAと県本部が共同開催しています。



その他の活動

交通事故対策活動(地域ぐるみ交通安全運動)として、秋の交通安全運動期間中に県警と連携してチラシ等を配布しています。

福島県本部

JAグループ統一交通安全キャンペーン

交通事故のない安全で明るい地域社会をつくるため、役職員一丸となって、街頭キャンペーンを行っています。



福島県高校生交通安全CMコンテスト

「交通安全」をテーマに自主制作のCMを募集し、優秀作品を民放4局でテレビCMとして放送しています。



その他の活動

健康増進活動、JA共済カップ福島県少年サッカー大会、JA共済サッカー教室、川柳コンクール、環境保全・清掃・救急法基礎講習・認知症サポーター養成活動

茨城県本部

JA共済CUP 茨城県学年別少年サッカー

茨城県サッカー協会との共催により、サッカーを通じて、次世代を担う健全な子どもたちの育成に取り組んでいます。



交通安全を願って～黄色い帽子の贈呈～

交通ルールに不慣れな新入学児童の交通事故防止を目的に、昭和51年度から毎年実施し、今までに延べ142万個を贈呈してきました。



群馬県本部

JA共済カップミニバスケットボール大会

スポーツを通じた心身の育成とともに、次世代層や地域住民とのつながり強化を目指し、特別協賛しています。



交通安全教室の開催

幼稚園児と保護者を対象に、交通事故防止・交通安全思想の啓発を図り、安全な地域社会作りに取り組んでいます。



その他の活動

- 新入学児童へのランドセルカバーの寄贈
- 県本部職員による環境保全活動の一環として、県立公園内の花壇作りと清掃活動を実施

栃木県本部

交通事故対策活動

希望する市町村へカーブミラーの寄贈や、交通安全協会を通じて反射キーホルダーや蓄光リストバンドの配布、新聞・ラジオを活用した交通安全啓発活動を実施しています。

文化・スポーツ活動

JA共済カップミニバスケットボール大会や、栃木県郡市町対抗駅伝競走大会に協賛しています。

役職員の地域貢献活動

県本部ビル・各サービスセンター周辺の就業前清掃活動の実施、ペットボトルキャップ・使用済切手の回収・寄付を行っています。

その他の活動

「とちぎ安心医療基金」寄付金納付者配付資材作成費用を寄贈しています。

埼玉県本部

全職員による地域清掃活動

全職員参加による各事務所周辺の清掃活動を延べ54回(全事務所)実施しています。



交通安全チャリティ募金活動

交通安全の意識向上を図ることを目的とし、交通安全サマーフェスティバルの中で、交通安全募金活動を実施しています。



その他の活動

- 女性セミナー：地域の女性を対象に、健康増進等の講演会を開催
- 環境保全活動：ペットボトルのキャップを回収し、関係機関に送付

千葉県本部

第35回交通遺児育英資金募金運動の実施

交通災害に対する支援の一助として、交通遺児への支援、交通事故防止を広く呼びかけることを目的に、昭和54年より実施しています。



その他の活動

- 交通安全運動へ参加、こども自転車大会の後援
- 健康管理・増進活動(人間ドック・動脈硬化症ドック助成、集団検診活動実施助成、健康管理集会開催助成)

神奈川県本部

健康増進活動



保養施設「あしがら荘」を利用した健康増進活動の実施

交通安全資材の寄贈



県・県警へ交通安全対策啓発資材を寄贈

小学生バレーボール大会



次世代層・地域とのつながり強化とJA共済認知度向上

事務所周辺の清掃活動



第2・4金曜日に県本部事務所周辺の清掃活動を実施

東京都本部

JA東京カップ東京都5年生サッカー大会を後援

少年サッカーの育成と発展を目指し、JAバンク東京信連およびJA全農東京とともに、JA東京カップ東京都5年生サッカー大会を後援しています。



山梨県本部

山梨県少年野球大会に協賛

スポーツを通じて心と体の育成を図るとともに、JA共済をより広く知ってもらい、認知度の向上を図るため、少年野球大会に協賛しています。



その他の活動

- 新入学児童に交通安全クリアファイルを配付
- 県へ交通安全啓発用「花の種」を寄贈
- 街頭で交通安全指導を実施

長野県本部

交通事故対策活動

交通事故の防止および交通安全思想の啓発を図るためのJA共済交通安全教室等の開催を支援しています。

役職員の地域貢献活動

収穫支援、出荷支援、販売支援等JA事業・イベントの協力・参加による地域貢献活動を行っています。

新潟県本部

ブナ植樹会への参加

NPO法人「湯沢みどりの会」主催の植樹会に職員20名が参加し、地元の方々とブナの苗木500本を植樹しました。



鵜の浜海岸清掃の実施

JA共済ロゴ入りビブスを着用し、海水浴シーズン前後の海岸清掃を2回実施し、職員82名が参加しました。



その他の活動

- 40歳以上の組合員を対象に健康教室を実施
- JAが実施する人間ドック・集団検診、軽スポーツなどへの助成

福井県本部

「献血の輪を広げ、血液不足解消を!」

夏場の輸血用血液不足解消の一助になるよう、平成20年から、集団献血を毎年実施しています。



「飲酒運転ゼロへ」

お酒を飲む機会が増える年末年始に向けて、街頭での飲酒運転撲滅の呼びかけとチラシ配布活動を実施しました。



その他の活動

- ふれあい健康教室：組合員等の健康管理促進
- 人間ドック助成：厚生連の定める要領より申請された方への助成の実施

岐阜県本部

JA共済交通安全チャリティ募金活動

JA農業祭等で募金活動を行うと同時に交通安全を呼びかける活動を実施。岐阜県交通遺児激励金に募金を寄贈しています。



ラッピングバスによる交通安全啓発活動

全国秋の交通安全運動に合わせて、路線バスを利用したラッピングバス広告を行い、交通安全啓発活動を実施しています。



その他の活動

JA介護施設利用者等を対象とした「絵てがみ・習字コンクール」を実施しています。

富山県本部

カーブミラーを県下市町村へ寄贈

秋の交通安全運動に合わせ、地域住民の交通事故未然防止を目的に市町村へカーブミラーを寄贈しました。



新入学児童交通安全啓発活動

新入学児童を対象に通学中の交通安全を願い「がっこうへいくときのおやくそくクリアファイル」を配付しました。



その他の活動

- JAへ交通安全啓発資材を配布
- JAが実施する人間ドックに対し助成
- ペットボトルのキャップを回収し、関係機関へ送付

石川県本部

いきいき健康増進活動



(一財)石川県予防医学協会の健康講話や健康教室を実施

役職員の地域貢献活動



クリーンビーチ石川実行委員会主催の清掃に参加

交通遺児への援助活動



交通遺児へ図書カードを贈呈

静岡県本部

健康管理・増進活動

共済加入者の健康管理のための「人間ドック」を実施したJAに助成しています。

交通事故対策活動

地域住民の交通安全に寄与するため「カーブミラー」の寄贈や、交通安全の啓発を図るための「エコはがき」を作成し配布しています。

文化・スポーツ活動

児童の健全な心身の育成と体力の増進を図るため「静岡県少年軟式野球大会」に特別協賛しています。

その他の活動

役職員による県本部周辺の「清掃活動」を実施しています。

愛知県本部

交通事故防止啓発運動の実施

「夏および年末の交通安全県民運動」期間に、駅周辺で職員による交通事故防止の呼びかけを実施しました。



災害時高齢者支援講習会の実施

災害時避難所等における高齢者の介助支援等の実技訓練を行いました。



その他の活動

介助犬訓練施設の見学および周辺の環境美化活動、組合員を対象とした健康管理集団保養、園児を対象とした母と子の交通安全教室を開催しました。

三重県本部

JA共済カップ少年サッカー大会(U-11)

次世代を担う少年達の想像力豊かで健全な心身の発育を図ることを目的に、県内の小学校5年生以下対象の少年サッカー大会を開催しています。



県本部職員の家族による海岸清掃活動

環境保全活動として、津市御殿場海岸周辺におけるゴミ清掃活動を県本部職員およびその家族の参加により実施しています。



滋賀県本部

選手学校訪問「レイクスカラバン」に協賛

子どもたちの心身の健全育成を目的に、「滋賀レイクスターズ」のバスケットボール選手が県内小中学校を訪問しています。



「びわ湖の日」環境美化活動に参加

琵琶湖岸等の清掃活動に参加し、湖国のクリーンアップに寄与しています。



その他の活動

春・秋の交通安全運動の際に、交通安全啓発のための資材を配布し、通行者に対し交通安全を呼びかけています。

兵庫県本部

交通安全教育番組放送



県内幼稚園等児童とJA職員参加の交通安全番組を放送

交通安全1日イベント



県警本部等と交通安全啓発イベントを実施

苗木1万本配布運動



個人等への苗木配布により“森づくり”を広げる

農協共済物故者慰霊祭

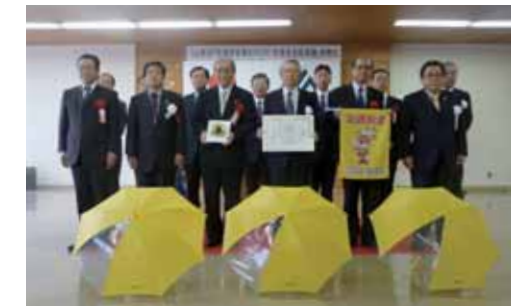


共済加入物故者の霊を慰めることを趣旨として実施

奈良県本部

交通安全傘および交通安全指導旗を交通安全協会へ寄贈

園児・児童を交通事故から守り、安心して暮らせる地域社会づくりへの貢献を目的として、交通安全傘・交通安全指導旗を寄贈しました。



その他の活動

ペットボトルのキャップを回収することでCO₂の削減に貢献し、さらにワクチンを購入することで世界の子供の命を救う活動に参加しています。

京都府本部

JA共済カップ京都招待少年サッカー大会

小学5年生以下を対象としたサッカー大会への協賛を通じ、少年少女の健全育成および地域社会とのつながりの強化を図るとともに、JA共済の認知度向上を図っています。



大阪府本部

健康管理・増進活動

組合員・生命総合共済契約関係者を対象に生活習慣病巡回健康診断を検診専門機関で実施し、健康管理、疾病の早期発見、早期治療に寄与しています。

人間ドックによる健康診断

巡回健康診断の補完として人間ドックを実施しています。

交通事故対策活動

交通安全意識の啓発と交通事故防止の徹底を図るため、大阪府交通対策協議会・大阪府警察本部が実施する年間キャンペーンに呼応して展開しています。

その他の活動

役職員による、府本部周辺の清掃活動を実施しています。

和歌山県本部

JA共済旗 学童軟式野球大会実施(協賛)

地区予選を各JA、県大会を県本部がそれぞれ協賛し、野球を通じた健全な子どもたちの育成を支援しています。



森林育成活動「JA共済 絆の森」

環境保全・CO₂削減を目的に、県本部職員全員で植樹・毎年の下草刈り活動を実施しています。



その他の活動

- 組合員等に対する「クアハウス白浜」利用割引
- 県内小学校の新入生へ交通安全レインコートの寄贈
- 交通安全子供自転車大会〔(一財)和歌山県交通安全協会〕への後援

鳥取県本部

JA共済学童軟式野球鳥取県大会

猛暑の中、県下8チームが頂点を目指して白熱した試合を繰り広げます。今後も次代を担う学童の健全な心身の育成等に貢献する活動を行っていきます。



清掃ボランティア活動で地域に貢献

鳥取県中部にある「東郷湖」周辺の清掃活動を行いました。今後も豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献する活動に取り組んでいきます。



島根県本部

JAカップ島根県学童野球大会の開催

次代を担う学童の健全な育成、社会マナーを身につけることを願うとともに、地域スポーツ発展への貢献を目的としています。昨年度は、第30回記念大会を開催しました。



街頭啓発活動で夜光反射材を配布

春・秋の全国交通安全運動期間中の朝・夕、JR松江駅前とショッピングセンターにおいて、松江警察署と連携し街頭啓発活動を実施。地域の皆さんに夜光反射材を配布しています。



広島県本部

職員全体で街の清掃活動を実施

年に1回、日頃お世話になっている地域への貢献を目的に、県本部職員がJAビル半径1km程度のエリアの清掃活動を実施しています。清掃活動を通して、地域への貢献はもちろん、マナー徹底の必要性の再認識や、職員全体の一体感の醸成を図っています。



その他の活動

- 交通安全教室用信号機の寄贈
- 国体にて広島県選手団へ清涼飲料水を寄贈

岡山県本部

交通安全教室の開催



県下の園児・小学生等を対象に警察の協力を得て実施

岡山県へ反射材寄贈



秋期交通安全運動に呼応しLED反射資材を寄贈

市町村へ交通安全機器



地域の皆さんに交通事故未然防止のお役に立っています

組合員の健康診断



組合員の健康維持・増進のため健診や健康教室を実施

山口県本部

親と子の交通安全教室

山口県警・地元警察署と連携し、保育園・幼稚園児とその保護者を対象に、正しい交通ルールとマナーを楽しみながら学んでもらう交通安全教室を実施しています。



ふれあい講座

主に中高齢者とJA女性部員を対象に、柔道整復師や厚生連保健師による講話等を通じて、いきがいと健康維持管理についての認識を高めることを目的に開催しています。



徳島県本部

幼稚園児と保護者対象の交通安全教室

県下の幼稚園児とその保護者を対象に、県や地元警察署等の後援により、毎年交通安全教室を開催しています。



県内小学生のサッカー大会への協賛

県内小学生を対象とするサッカー大会に協賛し、健全な心身の育成および地域社会の絆づくりに貢献しています。



その他の活動

JA女性部員を対象に外部講師等による「女性のつどい」や、JAや組合員に対して交通事故相談を、また県本部職員による清掃活動を実施しています。

愛媛県本部

高規格救急車の贈呈

交通事故対策事業として地方公共団体等へ贈呈しています。これまでの贈呈台数累計は59台で、うち高規格救急車は15台になります。



交通遺児募金活動

交通遺児の救済と交通安全思想の普及のために実施しており、平成25年度は1,122,636円を贈呈しました。



その他の活動

- ピンクリボン活動：乳がんへの知識向上のためバッチを配布
- 反射タスキ・リストバンド：交通安全啓発活動の一環として配布

香川県本部

介護セミナーの開催

安藤和津氏を講師に迎え、地域の皆様に介護や福祉への理解を深めていただくことを目的に実施しました。



フォレストマッチング活動

協定森林の「JA共済連香川の森」において、森林環境保全のために枝打ち・除間伐などを実施しています。



その他の活動

- 生活支援の一環としてくらしのセミナーを開催
- 特別協賛のJA共済カップによりサッカー少年へのサポート活動を実施

高知県本部

小学校新入学児童に黄色い交通安全傘を配付

県内の小学校新入学児童全員に入学祝いとして、交通事故の防止などを目的に「黄色い交通安全傘」をプレゼントしています。



その他の活動

- 健康管理・維持増進を目的に人間ドックを実施
- 市街地や海岸の清掃活動への参加
- ペットボトルのキャップを回収し関係団体に送付

福岡県本部

第49回「JA共済」小・中学生作文コンクール

毎年、児童・生徒の健全な育成と情操教育の一助として実施しています。今年度は、県内512校、約11万8千点の応募がありました。



清掃登山で地域に貢献

平成25年11月、職員とその家族、約50名が参加し、四王寺山(太宰府市)の清掃登山活動を行いました。



その他の活動

- 大腸ガン検診・骨粗しょう症・腹部超音波検診に助成し早期発見・早期治療を促進
- 交通事故の未然防止活動として交通安全教室を実施

佐賀県本部

役職員による交通安全啓発活動



交通安全県民運動に呼応し街頭で交通安全を呼びかけ

火災予防ステッカー寄贈



火災予防意識の啓発を目的にステッカー約33万枚を広域消防局へ寄贈

健康管理・増進活動



健康維持・増進のため「ことぶき会」および「女性学級」を実施

交通安全反射ベスト寄贈



交通安全啓発活動として、反射ベスト620着を寄贈

大分県本部

大分国際車いすマラソン大会のボランティア

平成23年度より、大分国際車いすマラソン大会の運営ボランティアとして会場整理を行っています。



農業会館周辺道路の清掃活動

毎年3ヶ月に1度、始業前に農業会館周辺道路の清掃活動を行っています。



その他の活動

- 交通安全運動に呼応し街頭で安全運転呼びかけ
- 交通事故傷害共済付「よい子の交通安全手帳」への協賛

宮崎県本部

宮崎県少年サッカー大会を開催

小学生の健全な心身の育成を図るとともに、JA共済の更なるイメージアップを目的とし、毎年開催しています。



中学校バレーボール選抜大会を開催

中学生の夢を応援するとともに、地域に根差したJA共済の更なるイメージアップを図るため、毎年開催しています。



その他の活動

- 交通指導活動：小中学生の通学時に毎朝交通指導を実施
- 救急自動車や介護車両の寄贈

長崎県本部

職員による環境保全活動

長崎市平和公園において清掃活動ボランティアを実施。地域との絆づくりを大切に、環境保全に貢献しています。



(公財)長崎県育英会への寄附

募金活動を通じ、交通事故の被害にあわれた方々への支援に役立てるとともに、交通安全思想の普及を図っています。

交通事故対策活動

電飾看板およびソーシャルクロックを県内各地域に設置し、交通事故の防止と交通安全意識の高揚を図っています。

熊本県本部

交通安全啓発資材くまモングッズ贈呈

県下警察署・地区交通安全協会へ交通安全啓発資材を寄贈。平成25年度はくまモン反射リストバンド20,000本・くまモン反射クリップ26,000個を製作しました。



役職員による地域の清掃活動

豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努めています。役職員110名が参加し、熊本城二の丸広場、野鳥園の落ち葉などをゴミ袋80袋近く回収しました。



鹿児島県本部

交通安全教室の開催

地域社会における交通事故防止と交通安全意識の高揚を図るため、関係機関と連携し交通安全教室を開催しています。



交通安全資材および防犯資材の寄贈

県警を通じ各団体へ交通安全資材および防犯資材を寄贈し、交通事故防止・くらしの安全の向上を図っています。



その他の活動

- 交通安全啓発活動「青空スクール」の開催
- 交通安全街頭キャンペーンの実施

沖縄県本部

(公財)沖縄県交通遺児育成会への寄附

交通事故により父または母等を失った交通遺児に対する援助・救済活動として寄附を継続的にを行っています。「交通事故被害者が安心して暮らせる地域づくり」を目指しています。



JA共済交通安全ラッピングバスの実施

県内の路線バスを活用して「飲酒運転根絶」「子供向け横断時の注意喚起」「自転車ルール啓発」の標語を掲出したラッピング広告を行い、県内のドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけています。

